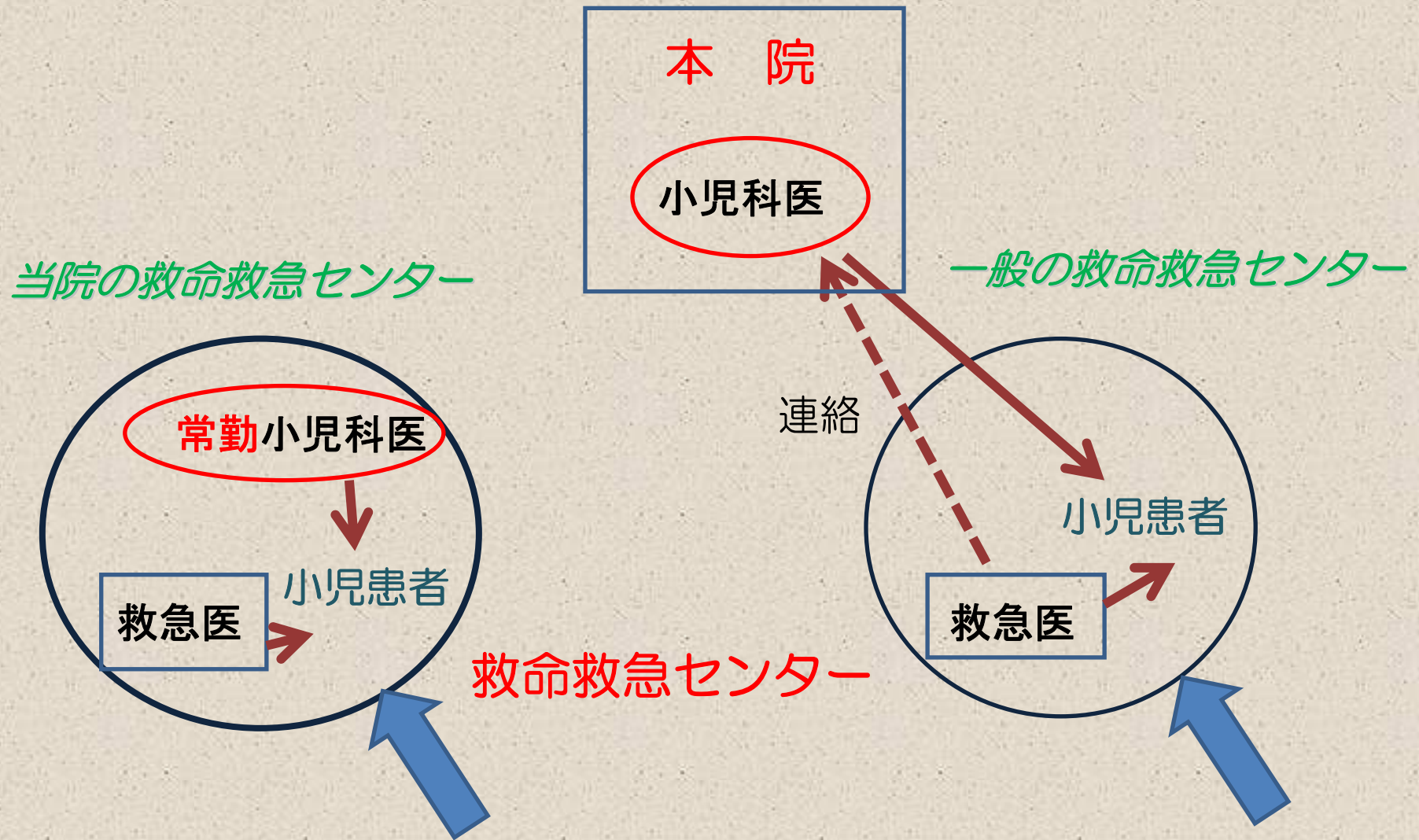


# 救命救急センターと小児科医



# 小児救急医療の動向と当院の取り組み

## 第1段階

【現 状】  
集約化・重点化  
小児科学会が推進  
小児科内の改革  
(小児科救急)



## 第2段階

【一部の地域】  
外傷・中毒への対応  
北九州・成育方式  
他診療科との連携  
(小児救急)



## 第3段階

【当院の取り組み】  
ER型救命センター  
でJATEC習得の上、  
小児を専門とる  
(小児救急専門医)



当院では成人救急の基本を習得した小児救急医の養成を目指している。

# 結 語

1. 救命救急センターにおける重篤小児の救急体制確保のためのモデル事業が必要である。
2. 重篤小児の救急対応にはPICUの存在が欠かせない。
3. PICUは小児病院に置かれる1型と救命救急センターに置かれる2型からなる。
4. 小児科医のMC(メディカルコントロール)体制への積極的参加が必要である。